

## IBM System x3500 M2



### ハイライト

- **高可用性を実現するさまざまな機能と統合システム管理ツールにより、稼働時間を最大化**
- **優れた安定性と柔軟な拡張性による、長期にわたる投資の保護**
- **優れたエネルギー管理と冷却効率を実現した最新のプロセッサテクノロジー**

### 優れたパフォーマンスと信頼性を維持

IBM® System x3500 M2 は、高度な信頼性を目指した設計と、マルチコア・プロセッサの優れたパフォーマンスと可用性の提供により、ミッション・クリティカルなアプリケーションや仮想化環境の連続稼働に最適な高性能タワー型サーバーです。障害ポイントを減らすための Light-Path 診断機構や冗長化された各種コンポーネントにより、万一の障害時における迅速な回復力を提供すると同時に、リモート・コンソール機能などの統合サポート機能により、システム管理の効率を最適化できます。

### 長期にわたる IT 投資の保護

x3500 M2 は、流動的なサーバーのトレンドにおいて、優れた安定性を提供する寿命の長いプラットフォームです。柔軟な構成と大容量のストレージ構成により、新しいビジネスの要件にも対応し、さらにビジネス要件の進化に伴うアプリケーションの追加にも容易に対応・拡張できます。

### プロセッサテクノロジーをレベルアップ

x3500 M2 は、処理の高速化、同時マルチスレッド化動的な電源管理をはじめとする、最新のインテル® Xeon® プロセッサのメリットを最大限に発揮します。標準テクノロジーに基づくエネルギー消費量のモニター、測定、管理のための内蔵機能により、優れた電力効率と事前対応型の管理性を提供します。

## System x3500 M2 の概要

フォーム・ファクター/高さ	タワー型
プロセッサ	インテル Xeon プロセッサ 5500 番台最大 2.93 GHz、QPI 最大 6.4 GT/s、最大 4 コア)
プロセッサ数 (標準/最大)	1/2
キャッシュ (最大)	プロセッサ当たり 最大 8 MB (L3キャッシュ)
メモリー <sup>1</sup> (標準/最大)	2GB/最大 128 GB (8 GB × 16 枚)、PC3-10600 DDR3 ECC RDIMM
拡張スロット	フルサイズ PCI Express(x16) スロット × 1 基、フルサイズ PCI Express(x8) スロット × 4 基、ハーフサイズ PCI Express(x8) × 1 基、ハーフサイズ PCI(33MHz/32bit) スロット × 1 基
ディスク・ベイ数 (合計/ホットスワップ対応)	8/8 2.5 型スリム・ハイト
最大ハードディスク (HDD) 容量 <sup>1,2</sup>	4TB (500GB×8) ホットスワップ SATA/SAS HDD HDD
ネットワーク・インターフェース	オンボード・デュアル・ギガビット Ethernet
電源ユニット (標準/最大)	1/2、各 920 ワット
ホットスワップ対応コンポーネント	電源ユニット、冷却装置 (ファン)、HDD
RAID サポート	ServeRAID™-BR10i (RAID 0/1/1E) 標準搭載。オプションで RAID 5/50/6/60/10 に対応
システム管理	オート・リスタート機能、HDD、プロセッサ、電圧調節モジュール (VRM)、Predictive Failure Analysis (PFA: 障害予知機能)、統合管理モジュール、リモート・プレゼンス、IBM Systems Director、IBM Systems Director Active Energy Manager™
サポートされるオペレーティング・システム <sup>3,4</sup>	Microsoft® Windows®, Red Hat Enterprise Linux®, SUSE Linux Enterprise, VMware ESX および ESXi
保証 <sup>5</sup>	3 年間部品/3 年間オンサイト修理保証サービス (24 時間 × 週 7 日、CRU)
エネルギー消費効率*	掲載対象外

\* エネルギー消費効率とは、エネルギーの使用の合理化に関する法律 (昭和 54 年法律第 49 号、以下「省エネルギー法」という) で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネルギー法で定める複合理論性能で除したものです。

## ご購入・お見積のご相談はこちらへ

System x ホーム	<a href="http://ibm.com/systems/jp/x/">ibm.com/systems/jp/x/</a>
オプション	<a href="http://ibm.com/systems/jp/x/option/">ibm.com/systems/jp/x/option/</a>



© Copyright IBM Corporation 2009

日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12

Produced in Japan  
April 2009  
All Rights Reserved

本書には、技術的に正確ではない記述、写真の誤りや誤植を含む場合があります。本書は米国で制作されたものです。本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。また、本書の情報は、予告なしに変更される場合があります。本書に記載の製品やサービスが、必ずしもその他の国においても提供されるとは限りません。日本で利用可能な製品、プログラム、またはサービスについては、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。IBM、IBM ロゴ、ibm.com および System x は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、[ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://ibm.com/legal/copytrade.shtml) をご覧ください。

Intel、インテル、Intel ロゴ、Xeon、Xeon Inside は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。

<sup>1</sup> 内蔵ハードディスク容量やメモリー容量を最大構成にするには、標準のハードディスクや DIMM (メモリー) を取り外し、すべてのハードディスク・ベイやメモリー・スロットに、現在サポートされている最大容量のハードディスクや DIMM を装着する必要があります。可変速 CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD ドライブの場合、実際の再生速度は変動しますので、掲載されている再生速度よりも遅くなる場合があります。

<sup>2</sup> ストレージ容量の場合、GB および TB は、それぞれ 10 億バイトおよび 1 兆バイトを表します。実際にアクセス可能な容量はこれより小さくなる可能性があります。

<sup>3</sup> OS サポートと認証情報は、IBM ServerProven® Web サイト [ibm.com/servers/eserver/serverproven/compat/us/indexsp.html](http://ibm.com/servers/eserver/serverproven/compat/us/indexsp.html) をご覧ください。

<sup>4</sup> Microsoft、Red Hat、Novell SUSE および/または VMware オフラインは、大部分の国で System x サーバーと一緒に購入可能です。

<sup>5</sup> 日本 IBM ハードウェア製品は、新部品のみ、または新部品と再製部品の組み合わせにより製造されています。ただし、いずれの場合であれ、日本 IBM 所定の保証が適用されます。保証・保守/サービスに関する最新情報については、[ibm.com/systems/jp/x/service/](http://ibm.com/systems/jp/x/service/) を定期的に参照してください。IBM は、ServerProven に登録されている他社製品およびサービスに関して、一切の保証責任を負いません。



Recyclable, please recycle.

XSD03043-JPJA-02